

学 校 経 営 計 画

I 教育指標・校訓

「 知 性 」 「 克 己 」 「 進 取 」

～ 己に克ち、主体的学びから確かな学力と創意工夫をもって生き抜く人間力を身につける ～

II 教育目標及びスクールミッション

1 教育目標

教育基本法並びに教育に関する公法に則り、「知・徳・体」の調和のとれた人間形成に努め、健全な心身と豊かな個性を育て、地域・郷土・国内・国際社会の発展に寄与する有為な人材を育成する。

2 スクールミッション

一人ひとりの生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばすため、「知性・克己・進取」の校訓のもと、地域の立地的・人的・物的資源を有効に活用した教育活動を通して、学問・スポーツ・産学官連携における探究的・創造的な資質・能力を身に付け地域回帰・定着する人材を育成します。

III 本校における「三つの方針」(スクールポリシー)

1 育成を目指す資質・能力に関する方針

- (1) 確かな基礎学力を身に付け、自らよりよい人生を切り拓く力を育成します。
- (2) コミュニケーション力を高め、他者と協働しよりよい社会を創造する力を育成します。
- (3) 自ら目標を立て、その目標に向かって努力を継続する力を育成します。
- (4) 郷土やまがた・西村山に愛着を持ち、地域の課題解決に貢献する意欲と力を育成します。
- (5) 多様な個性や価値観を尊重し、思いやりを持って他者とのかかわることのできる豊かな人間性を育成します。

2 教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 確かな学力の定着に向けて、基礎基本を重視した学習指導を行います。
- (2) 豊かな人間性の育成に向けて、生徒会活動や部活動のほか地域活動・ボランティア活動・体験活動などを推進します。
- (3) 地域の方々との交流を深めながら、地域に関する学習や探究活動を活発に行います。
- (4) 多様な進路希望の実現を支援するため、きめ細やかな進路指導を行います。
- (5) 生徒が主体性を発揮でき、達成感を味わえる学校行事を実施します。

3 入学者の受入れに関する方針

- (1) 基本的な生活習慣、学習習慣が身に付いており、目標を持って意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。
- (2) 学校行事をはじめ生徒会活動や部活動、ボランティア活動に積極的に取り組む生徒を募集します。
- (3) 身近な地域や社会に関心を持ち、活躍・貢献したいという意欲のある生徒を募集します。
- (4) 自分の進路目標の実現のために努力できる生徒を募集します。
- (5) 思いやりの心を持ち、仲間を大切にする生徒を募集します。

IV 令和6年度の重点目標および達成のための方策

1 学習習慣の定着を図り、基礎学力を身に付け、多様な進路希望を実現する。

- (1) 教科会を活性化し、教科を挙げた指導により復習を中心とした家庭学習の習慣化を図る。
- (2) 学習目標を明確にするとともに学習計画をしっかりと立てさせ、スタディサプリその他の教材を十分に活用した計画的な学習を行うことで達成感を味わわせる。
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」を喚起する探究型学習の実践を進め、授業改善に係る研修を行う。
- (4) 授業や探究活動における ICT 機器の活用を進めるとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。
- (5) 新学習指導要領の実施3年目としてその成果と課題を確認するとともに、観点別評価を適切に行う。
- (6) 生徒の学力状況を的確に把握し、その課題を明らかにしながら個別の支援を行う。
- (7) 生徒が生き方・在り方を模索し、考察する多様な機会を提供し、キャリア教育を推進する。
- (8) 3年生全員の進路希望実現に向けて、教職員が役割を分担しきめ細やかな支援を行う。
- (9) 読書指導を推進するとともに、英語検定や漢字検定など資格取得に積極的に挑戦させる。

2 仲間との協働を通して、心豊かな人間性、社会力を育成し生きる力を身に付ける。

- (1) 生徒の交流・協働を大切にしながら学校行事を効果的効率的に実施する。
- (2) 生徒の主体性・自発性を尊重した生徒会活動・部活動指導を行う。
- (3) 規範意識を醸成するとともに、生徒が主体的な参加した校則の見直しを進める。
- (4) 谷地高ならではの体験活動等を研究・企画する。
- (5) 諸活動において目標を立てそれに向けて計画的に努力することを経験させ、自己肯定感を高める。

3 生徒の小さなつまづきを早期に察知し、きめ細やかな支援を行う。

- (1) 定期的な面談週間を設定し、信頼関係の醸成を図り、生徒理解を深める。
- (2) 日常的な声かけや観察をとおり、生徒の悩みを早期にキャッチし、教育相談につなげる。
- (3) QU アンケート等を活用し、生徒の状況を丁寧に把握し支援にあたる。
- (4) スクールカウンセラーとの連携を密にするとともに、教育相談に関する研修を実施する。

4 地域との連携・協働を積極的に展開し探究活動を推進するとともに、中学生との交流を図る。

- (1) 教育課程内外の探究活動を盛んにし、地域に対する課題意識を高め、愛着を深める。
- (2) 「かほく探求実践プロジェクト」の一層の充実を図り、一般生徒の参加を促進する。
- (3) 地域活動・ボランティア活動への積極的参加を促し、地域の方々との交流を体験させる。
- (4) ホームページやインスタグラムなども活用し、地域に対して谷地高の魅力を発信する。
- (5) 「中学生との学校活動連携プロジェクト」を推進し、地元中学生との交流を図る。

5 教職員の同僚性を高め、関係機関と連携し「チーム谷地高」で諸課題を克服する。

- (1) 日常的な挨拶や対話を大切に、「お互い様」と声をかけ合う雰囲気を醸成する。
- (2) 学校の業務の在り方について点検・検証を行い、業務量の削減に努める。
- (3) 校内 OJT や各種研修会を通して、教職員間の意見交流を盛んにし、業務の改善を図る。
- (4) 河北町、PTA、同窓会、西村山地域の諸団体との連携・協力を進める。
- (5) 課題解決にあたってはチーム対応を心がけ、対応を通してチーム力の向上を図る。

V 数値目標

- (1) 学校評価アンケート（生徒）の次の質問項目において集計平均数値 3.4 以上
 - ①「本校に通うことは、自分の将来にとって意義がある。」
 - ②「授業に積極的に取り組んでいる。」
 - ③「学校行事（学校祭・クラスマッチ・マラソン大会等）は充実している。」
 - ④「先生方は、担任に限らず、養護教諭やその他の先生にも気軽に悩み事を話したり、相談したりすることができる。」
 - ⑤「部活動や生徒会活動に積極的に取り組んでいる。」
- (2) 入学者選抜志願倍率、前期（特色）選抜 1.2 倍以上、後期 1.0 倍以上
- (3) 無欠席者各学年 50%以上
- (4) 英検 2 級合格者、漢検 2 級合格者各 4 人以上
- (5) P T A 総会の保護者出席率 67%以上
- (6) 平日の家庭学習時間、1 年 1 時間・2 年 2 時間・3 年 3 時間以上
- (7) 部活動の加入率 70%以上、東北大会以上の出場運動部 2、文化部 1 以上
- (8) タブレット使用率 80%以上（授業、講習、遠嶺、学年行事、講演会等）
- (9) 図書の貸出冊数について年 1 人平均 5 冊以上
- (10) 卒業時進路決定率 100%（3 月末時点）
- (11) 4 年制大学（国公立・私立）合格者 3 学年生徒数の 30%以上
- (12) 公務員受験者延べ 10 人以上、合格者数 3 人以上
- (13) 「かほく探求実践プロジェクト」参加生徒 50 人以上
- (14) 登下校時の交通規則違反、交通事故発生件数ゼロ
- (15) 健康定期検診後の治療報告率教職員 100%、生徒 90%以上
- (16) 月当たりの超過勤務時間について、年間平均で 40 時間以下